

# FD・SD

プログラム番号 2901A

## 大学の危機管理 一事例から考えるハラスメント

### ■講師



阿部 光伸(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 講師)  
東北大学大学院教育学研究科修了。専門学校での15年の教員生活を経て、平成15年から東北文化学園大学に勤務(学生課長, 教務部長, 学園事務局部長)。学生課長・教務部長時代に学生・教職員にかかる事件・事故等に対応。平成24年4月から現職。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC/SPOD-SDC。



清水 栄子(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 助教)  
安田女子大学文学部英語英米文学科卒業。桜美林大学国際学研究科大学アドミニストレーション専攻修士課程修了。広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了(博士(教育学))。学校法人安田学園安田女子大学企画室、庶務課、教務課、学生課、公立大学協会事務局主幹、国立高等専門学校法人阿南工業高等専門学校FD高度化推進室特命講師を経て、2013年4月より現職。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC。



吉田 一恵(愛媛大学 教育学生支援部 部長)  
愛媛大学法文学部法学科卒業。愛媛大学広報室長、人事課長を経て平成26年4月から現職。広報室・人事課での5年6月の間愛媛大学危機管理室副室長を兼務し、記者会見を所掌、報道対応マニュアル等を作成、人事課では、労務・人権侵害事案にも対応。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC/SPOD-SDCとして引き続き職員の能力開発に取り組んでいる。

### ■プログラム概要

あなたが、今、何気なく行っているその言動は、ハラスメントではありませんか？

本プログラムでは、大学等において、今、身近にあるハラスメントについて説明すると共に、ハラスメントが起こった時の初期対応、未然に防ぐための気づきについて考えます。特に、複雑かつ多様化するハラスメントについて、具体的事例を挙げながら、「ケースメソッド」により省察し、①ハラスメント認定のポイント、②ハラスメントが起きた場合の対処方法、③ハラスメント「施策」を導き出していきます。

### ■主な受講対象

全教職員

### ■本プログラムの到達目標

1. ハラスメントについて、説明することができる
2. ハラスメントの事実認定ができる
3. ハラスメントに対処できる
4. ハラスメントの予防対策を構築することができる

### ■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月29日(金)10:00~12:00  
会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育1号館 125番教室  
定 員 : 64名